

高等教育研究開発推進センター主催
「3つのポリシー」勉強会

2016.9.28

第1部：策定上の留意点の説明・意見交換

「3つのポリシー」の見直しについて

高等教育研究開発推進センター
松下 佳代 ・ 山田 剛史

CONTENTS

- 3ポリシーとは ~あらためて、3ポリシーの定義を確認~
- 政策的背景 ~なぜ、見直さないといけなくなったのか？~
- スケジュール ~どういうスケジュールで進めていくのか？~
- 見直しのポイント ~見直しの際に何がポイントになるか？~
- 参考事例 ~学内・外で参考になる3ポリシーは？
- フォーマット例 ~例えば、こんな書き方~
- コンサルテーション ~困ったときはどうする？~

3ポリシーとは（中教審「ガイドライン」より）

● ディプロマ・ポリシー（卒業の認定に関する方針）

- 各大学，学部・学科等の教育理念に基づき，どのような力を身に付けた者に卒業を認定し，学位を授与するのかを定める基本的な方針であり，学生の学修成果の目標ともなるもの。

● カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

- ディプロマ・ポリシーの達成のために，どのような教育課程を編成し，どのような教育内容・方法を実施し，学修成果をどのように評価するのかを定める基本的な方針。

● アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

- 各大学，学部・学科等の教育理念，ディプロマ・ポリシー，カリキュラム・ポリシーに基づく教育内容等を踏まえ，どのように入学者を受け入れるかを定める基本的な方針であり，受け入れる学生に求める学習成果（「学力の3要素」※についてどのような成果を求めるか）を示すもの。

※(1)知識・技能，(2)思考力・判断力・表現力等の能力，(3)主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（「学校教育法」第30条2、高大接続答申）

政策的背景

● 省令改正

● 3ポリシーの策定・公表の義務化

- 学校教育法施行規則(2016年3月31日改正、2017年4月1日施行)



● これまでの3ポリシーの内容の不十分さ(抽象的・形式的な記述、全体的な関連性・統一性の欠如)

+ 新しい教育改革の動き

- 中教審「将来像答申」(2005年) …3ポリシーが初めて登場
- 中教審「学士課程答申」(2008年) …「学士課程」「学習成果」「学士力」
- 中教審「質的転換答申」(2012年) …「アクティブ・ラーニング」
- 中教審「高大接続答申」(2014年) …入試改革、「一体的改革」「学力の3要素」

【参考】3ポリシーの策定・公表に関わる省令改正

○学校教育法施行規則（2016年3月31日改正、2017年4月1日施行）

* 下線部が、今回の改正部分

第百六十五条の二 大学は、当該大学、学部又は学科若しくは課程（大学院にあつては、当該大学院、研究科又は専攻）ごとに、その教育上の目的を踏まえて、次に掲げる方針（大学院にあつては、第三号に掲げるものに限る。）を定めるものとする。

一 卒業の認定に関する方針

二 教育課程の編成及び実施に関する方針

三 入学者の受入れに関する方針

2 前項第二号に掲げる方針を定めるに当たつては、同項第一号に掲げる方針との一貫性の確保に特に意を用いなければならない。

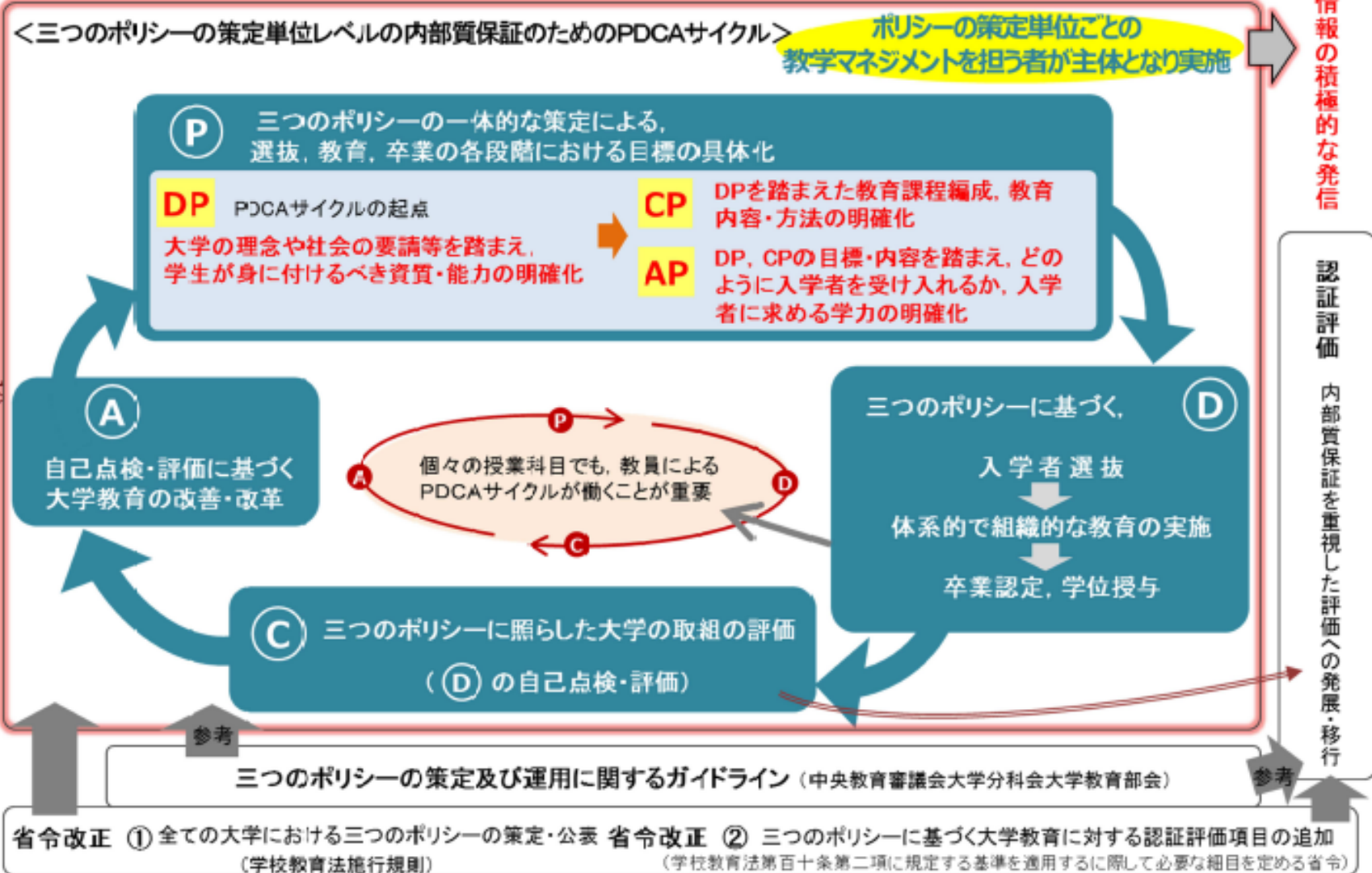
第百七十二条の二 大学は、次に掲げる教育研究活動等の状況についての情報を公表するものとする。

一 大学の教育研究上の目的及び第百六十五条の二第一項の規定により定める方針に関すること

● 3ポリシーとPDCAサイクル

「三つのポリシー」に基づく大学教育改革の実現(イメージ)(案)

三つのポリシー … ディプロマ・ポリシー(DP), カリキュラム・ポリシー(CP), アドミッション・ポリシー(AP)



スケジュール

- 省令の改正・施行と各大学の取組（全大学）
- 3ポリシー策定・公表のスケジュール（学内）

- 7月上旬～10月末： 既存ポリシーの見直し作業

（学部は3ポリシーとも、大学院はAP）

部局

←9/28勉強会

←コンサルテーション（高等教育研究開発推進センター）

- 11月上旬～： ①各部局における見直し案について、統一性の観点から調整
②アドミッション・ポリシーとの整合性の調整

- ～12月下旬： 見直し完了

教育制度委員会・
入試委員会

三つのポリシー策定義務化に関する省令の改正・施行と 各大学に求められる取組の時期に関する考え方(案)

資料 1 - 2



H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
-------	-------	-------	-------	-------

3月 省令改正
施行通知

★各大学における検討を踏まえた3ポリシーの策定、改正、確認等の取組(3月末までに要完了)

第3期中期目標・計画期間(H28～33年度)

4月 改正省令施行

各大学における3つのポリシー策定が義務に

第3期認証評価期間(H30～36年度)

★各大学における各ポリシーを踏まえたカリキュラム改革、入学者選抜方法の改革、SD、FD等の取組

→ 可能なものから順次速やかに実施

各大学における具体的なスケジュールとして考えられる例

カリキュラム改革の例

ポリシーの策定
(カリキュラム、
評価方法等の見直し)



カリキュラム見直し、学習成果の評価方法の見直し、シラバス作成等は各大学において適切に見直し、適宜実施

入学者選抜方法の改革の一例

(軽微な変更の場合)

ポリシーの策定
(入学者選抜方法の見直し)



平成30年度入
試要項の公表

試験実施

入学

(大きな変更の場合※)

入試方法の
変更予告



平成31年度入
試要項の公表

試験実施

入学

(2年程度前予告)

※教科・科目の変更等が入学者の準備に大きな影響を及ぼす場合

見直しのポイント ①策定単位

教育制度委員会作成の「各ポリシー見直しの視点」に
そって見直しを行う

- 基本的に、3ポリシーの策定単位は「**学位プログラム**」の策定単位とする。
 - 「学位プログラム」=授与される学位の専攻分野ごとの入学から卒業までの課程（例：「**大阪大学の学位プログラム**」）
 - 京大の場合：**現行のコースツリーの策定単位**が、ほぼ「学位プログラム」の策定単位に近い
- ただし、**AP**については、入試との対応関係を考慮して、入試を共用している学部（あるいは学位プログラム）間で、**APの調整**を行う必要がある。

APの調整は、各部局ではなく、教育制度委員会および入試委員会で行う

見直しのポイント ②ディプロマ・ポリシー

- DP = 学生が卒業段階で身につけておくべき**資質・能力**
= 学修成果の目標 / 卒業認定・学位授与の基準
- 「**資質・能力**」の中身
 - 知識・理解
 - 能力(分野固有の能力と汎用的技能)
 - 態度・志向性
 - * 専門教育だけでなく、教養・共通教育(初年次教育も含む)も視野に
- **卒業認定の基準・方法**
 - 修得単位の数・構成
 - 卒業論文・卒業研究の有無、GPA値など
- **社会からの期待**

【参考】

● 学士力 (中教審, 2008)

知識・理解

- ・多文化・異文化に関する知識の理解
- ・人類の文化、社会と自然に関する知識の理解

汎用的技能

- ・コミュニケーション・スキル
- ・数量的スキル
- ・情報リテラシー
- ・論理的思考力
- ・問題解決力

態度・志向性

- ・自己管理能力
- ・チームワーク
- ・リーダーシップ
- ・倫理観
- ・市民としての社会的責任
- ・生涯学習力

統合的な学習経験と創造的思考力

● 日本学術会議 「各分野の教育課程編成上の参照基準」

- DP・CP見直しの参考になる
- 2016年9月現在、以下の分野の参照基準が公表済み

経営学、言語・文学、法学、家政学、
機械工学、数理科学、生物学、土木工
学・建築学、経済学、地域研究、歴史
学、材料工学、政治学、地理学、文化
人類学、社会学、心理学、地球惑星科
学、社会福祉学、電気電子工学、情報
学、哲学、統計学、農学

見直しのポイント ③カリキュラム・ポリシー

(★はぜひ盛り込んでいただきたいもの)

● 教育課程(カリキュラム)

- 初年次教育、教養・共通教育、キャリア教育【専門教育との連携】 ★
- コースツリー、ナンバリングなどの活用【カリキュラムの体系化】 ★
- 社会や大学院教育との接続【出口】
- CAP制の活用【単位制度の実質化】
- 留学、インターンシップ等のプログラムの充実【準正課活動】

● 教育内容・方法(各科目)

- 要件をみたしたシラバスの作成と組織的なチェック、公表【シラバス】 ★
- 能動的な学修に向けた取組、主体的な学修のための教材開発・学修支援【教授・学習法、学修支援】 ★

-
- 評価(カリキュラム全体、各科目)
 - 成績基準や評価方法の明示【シラバス】★
 - プログラム全体にまたがる学修成果のアセスメント、その具体的な方法(学生調査など)と公表のしかた【アセスメント】
 - 個々の学生の学修履歴の記録(ポートフォリオ、プロフィールなど)、学生自身による学修デザインの支援【学修履歴】
 - GPAの活用【成績評価】

見直しのポイント ④アドミッション・ポリシー

- 「知識水準及び専攻分野への関心、意欲、態度といった面」から、受け入れる学生に求める学習成果を記述
 - * 学部のAPについては、「学力の3要素」との対応関係を考慮すると、「能力（思考力・判断力・表現力等の能力）」についても言及することが望ましい
- 多様な選抜方法（一般入試、特色入試など）において、学習成果のうちの何を、どのように評価しているかを記述
 - (1) 入学前にどのような多様な能力をどのようにして身に付けてきた学生を求めているのか
 - (2) 入学後にどのような能力をどのようにして身に付けられる学生を求めているのか
 - (3) 選抜においてどのような評価方法をどのように活用するのか
(教育制度委員会「各ポリシー見直しの視点」より)

参考事例

● 学外

- 「大阪大学の学位プログラム」(省令改正前のもの)
 - 学士課程／大学院課程 … 策定単位はさまざま
 - 策定単位の設定のしかた、3ポリシーの内容、コースツリーの組み込み、全体の統一性
- 「関西国際大学“三つの方針”」(省令改正後のもの)
 - 学科単位
 - 省令改正に対応、モデルケース的役割、全体の統一性、具体性

● 学内

- 理学部・理学研究科

フォーマット例

● ディプロマ・ポリシー

- 本学●●学部は、…といった人材[研究者、社会人、市民]を育成することが社会から期待されている。そうした人材を育成するために、本学部では、所定の課程を修め、●単位の単位修得と必修等の条件を充たしたうえで、次のような目標を達成した者に学位を授与する。

(1)……

● カリキュラム・ポリシー

- 本学部では、ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するために、全学共通科目、専門教育科目を体系的に編成し、講義、演習、実験、実習を適切に組み合わせた授業科目を開講する。教育課程については、コースツリーやナンバリングを用いてその体系性や構造を明示する。

● カリキュラム・ポリシー（続き）

- 教育内容、教育方法、学修成果の評価については以下のように方針を定める。

1. 教育内容

(1) ……

- * ● 科目群では、～の内容を学ぶ、など

2. 教育方法

(1) ……

- * フィールドワークを重視している、など

教育課程だけでなく、教育内容・方法、評価についても言及が必要

3. 学修成果の評価

(1) ……

- * 各科目の評価はシラバスに示す、卒業研究の評価は●●によって行うなど

● アドミッション・ポリシー

- 本学部は、……という歴史をもち、……を教育理念に掲げている。そのような教育理念の下、本学部のディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに示す教育を行っている。こうした教育を受けるための条件として、次に掲げる知識・技能や能力、目的意識・意欲等を備えた学生を求める。

(1) ……

- また、そのために、入学者選抜においては、以下のような評価方法を用いる。

(1) ……

DP・CPとの関連性も重要だが、APは、受験生への直接のメッセージとなるので、独立でも読みごたえのある内容にすることが必要

コンサルテーション

- 困ったとき、作業にいきづまったときは、
高等教育研究開発推進センターにご相談ください。

【担当】

松下 (matsushita.kayo.7r(at)kyoto-u.ac.jp)

山田 (yamada.tsuyoshi.7u(at)kyoto-u.ac.jp)

参考資料

- 中央教育審議会 (2008). 「学士課程教育の構築に向けて(答申)」.
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1217067.htm
- 中央教育審議会 (2012). 「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて～生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ～(答申)」.
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1325047.htm
- 中央教育審議会 (2014). 「新しい時代にふさわしい高大接続の実現に向けた高等学校教育、大学教育、大学入学者選抜の一体的改革について(答申)」.
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1354191.htm
- 日本学術会議「各分野の教育課程編成上の参照基準」
<http://www.scj.go.jp/ja/member/iinkai/daigakuhosyo/daigakuhosyo.html>
- 「大阪大学の学位プログラム」(省令改正前のもの)
 - 学士課程
http://www.osaka-u.ac.jp/ja/guide/announcement/files/program_school.pdf
 - 大学院課程
http://www.osaka-u.ac.jp/ja/guide/announcement/files/program_graduateschool.pdf
- 「関西国際大学“三つの方針”」(省令改正後のもの)
<http://www.kuins.ac.jp/about/3policy.html>